



# 朝霞第四小だより

《学校教育目標》

かしこい子  
やさしい子  
たくましい子

朝霞市立朝霞第四小学校

〒351-0015

朝霞市幸町1-6-9

TEL (461) 0363

E-Mail 4shou@city.asaka.saitama.jp

発行責任者 校長 小太刀 周

## 耐える心

校長 小太刀 周

2月3日は節分です。豆まき（邪気を追い払う）をしたり、恵方巻き（幸福を司る年神様の方角を向いて願い事をしながら最後まで黙々と食べる巻き寿司）を食べたりと、日本の伝統行事にもなっています。そして、翌2月4日は、立春（厳しい冬の寒さを越えて暖かな春の始まり）です。冬の寒さに耐えるのもあとわずかです。春のきざしは見えています。

さて、日々、子供たちの生活に接していると、「我慢する心や耐える心」の弱い子供たちが増えているように思います。「何でもないようなことにすぐ切れてみたり」、「つまらないことに腹を立てトラブルになってみたり」と、残念な様子が見受けられます。昨今、子供たちは我慢や忍耐をする経験が少なくなっているのではないのでしょうか。

例えば、家族で外出した時に「おもちゃが欲しい、洋服が欲しい」とだだをこねられた場合、日々の生活の中で「約束したお手伝いや勉強・宿題」が実施されなかった場合、家族や親戚が多く集まる時にわがままを言われた場合、我が子に我慢や忍耐を与えていますか。厳しく接していますか。ともすると、我が子の可愛さに負けてしまったり、面倒を避けようとしてしまったりと、自分の弱さに打ち克つ我が子の機会を奪ってはいないのでしょうか。

私が思うに、子供に必要なのは物ではありません。子供が喜び、見える物を与えるのにはお金で解決できますが、子供が嫌がり見えないものを与えるには、幾らお金があっても不可能です。つまり、子供たちに必要なのは「物」ではなく、「我慢する心や耐える心」もその一つではないかと思えます。

将来、責任を持って安心な家庭を築ける子供、家族に暴力を振るい家族を傷つけることのない子供に育つためにも、欲しがる物を何でも我が子に与えてはなりません。また、父母として社会に出たら自分の思い通りにならないことがたくさんあるということを理解させ、その多くの困難に立ち向かえる強い心の持ち主に育てあげなければなりません。我が子の幸せを願うなら「我慢する心・耐える心＝克己心」を今育てていく必要があるのではないのでしょうか。

今後も、「当たり前のことを当たり前でできる子」を育てるために学校と家庭との連携を一層深めてまいりたいと思います。さらなる御協力をよろしく願いいたします。